

平成23年度事業シート(概要説明書)《※平成22年度実施事業》

事業の概要	事務事業名	平成夏まつり支援事業							担当部	市民産業部			
	会計区分	一般会計				事業類型	一般		担当課	生活交流課			
	事業期間	平成12年度以前			～	平成30年度以降			担当係	交流係			
	総合計画 分野別計 画	主目的	1 市民生活		2 交流		1 住民相互のつながりを深める						
		副目的											
	予算区分	款	2		項	7		目	2		大	4 中 2	
	根拠法令・個別計画												
	実施・運営 方法	<input type="radio"/>	市が直接実施・運営				<input type="checkbox"/>	地域住民組織		<input type="radio"/>	一部又は全部委託		
			指定管理・外郭団体				名称:						
			NPO・その他				名称:						
目的 (対象をどの様な状態にするのか)	平成夏まつりは、平成元年から友好都市の八雲町の山車行列を参考に始められた。参加者だけでなく、観客も楽しむことができるように、すばらしい山車やパフォーマンスを披露することにより、市民活力の向上とするだけでなく、中心市街地活性化にも貢献する。												
内容 (手段)	<p>企画運営は、より市民ニーズに近いイベントとするため、参加団体や市民団体によって構成される実行委員会が主体となって行い、市は補助金の交付などの支援を行っている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小牧の中心街を行灯山車(ねぶた山車)とパフォーマンス(ハネ踊りやよさこい)や太鼓などでの行列の実施 ・手筒花火を中心とした打ち上げ花火と和太鼓の競演によるフィナーレの実施 <p>職員の事務</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参加する団体の組織で構成する実行委員会の補助 ・事務局として各機関との調整・準備・進行等 <p>※参加する団体は、実行委員会に参加費を負担</p>												
受益者負担	無	内容											

		単位	H21決算額	H22決算額	H23予算額		
コスト	費用	直接経費	千円	22,612	21,351	17,632	
		正職員	従事者数	人	0.85	0.85	0.85
			人件費	千円	4,560	4,560	4,560
		その他職員	従事者数	人	0.00	0.00	0.00
			人件費	千円	0	0	0
		費用合計		千円	27,172	25,911	22,192
	対前年比		%		95.3		
財源	一般財源	千円	27,172	25,911	22,192		
	国・県支出金	千円	0	0	0		
	その他財源	千円	0	0	0		

業 績	活動指標	活動指標名	単位		H21	H22	H23	
		参加団体数	団体	目標		23	23	23
				実績		18	22	
				目標				
				実績				
			目標					
			実績					
	成果指標	成果指標名	単位		H21	H22	H23	
		来場者数	団体	目標		75,000	75,000	75,000
				実績		27,000	77,000	
			目標					
			実績					

事業の自己評価（一次評価）	事業目的の達成状況	<p>参加募集方法の変更や雑誌等のメディアを利用したPRなどにより、来場者数は目標を達成できた。参加団体数については、当初23団体参加予定であったが、募集締切以降に、急遽参加辞退がでたため、目標を達成できなかった。</p> <p>※平成21年度については、1日目が雨天中止のため目標値の数値を大きく下回っている。</p>				
	事業を廃止・休止したときの影響	<p>参加団体数は22団体、来場者は77000人をこえる市内最大級のイベントであり、このイベントに参加するため1年をかけ準備したり、当日来場することを楽しみにしている市民も多いことから、廃止・休止はかなり影響が大きいと考える。</p>				
	判定	B	市が実施(改善が必要)			
	判定理由	<p>事業の廃止・休止したときの影響で記載したとおり、市内最大級のイベントであり、このイベントに参加するため1年をかけ準備をしたり、当日来場することを楽しみにしている市民も多く、小牧市はもとより県内にも同様のイベントがない。また、実施主体も実行委員会形式で参加する団体を中心に行われている。しかしながら、運営方法や参加団体の意識改革、また、参加者と来場者の一体感の創出などが課題である。</p>				
今後の事業の方向性（今後の取組み・改善計画等）	<p>実行委員会として、よりよいイベントとしていくため、毎年、新しい試みや企画・改善などを行っている。しかしながら、参加者と観客の一体感の創出が大きな課題であり、実行委員会に投げかけていく。また、新規の参加団体の募集のPRを行っていく。</p>					

二次評価	判定	B	市が実施(改善が必要)		
	判定理由	外部評価対象事業			